

神戸市立医療センター西市民病院 歯科医師臨床研修プログラム

I. 臨床研修プログラムの名称

神戸市立医療センター西市民病院 歯科医師臨床研修プログラム

II. 本プログラムの特徴

1. 本プログラムは神戸市立医療センター西市民病院研修管理委員会の管理下であり、採用から研修修了までを管理し、修了認定を受けた者に対して研修修了証を授与する。
2. 基本的に医科の臨床研修プログラムの研修理念、特徴、基本的研修目標、行動目標（医療人として必要な基本姿勢・態度）を同じくする。
3. 本プログラムは法定のプログラムに沿った単独型のプログラムであり、「基本習熟コース」と「基本習得コース」の両方を、病院歯科での研修に取り入れつつ、ここで経験できない項目は研修協力施設でカバーできるよう工夫している。

III. 研修目標

1. 歯科医師として好ましい態度・習慣を身につけ、患者及び家族とのよりよい人間関係を確立する。
2. 全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
3. 歯科疾患と障害の予防及び治療における基本的技能を身につける。
4. 一般的によく遭遇する応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
5. 歯科診療時の全身的偶発事故に適切に対応する。
6. 自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身につける。
7. 病院歯科におけるチーム医療を学ぶ。
8. 生涯研修の第一歩として科学的思考に基づいた医療を実践する習慣を身につけるとともに、専門的知識や高度先進的歯科医療にも目を向け、生涯研修の意欲への動機付けとする。
9. 高齢者、有病者、障害者の全身の評価ができ、歯科医療を安全に実施できる歯科医師をめざす。

IV. プログラム責任者

西田 哲也（歯科口腔外科部長）

V. 施設の概要

1. 臨床研修施設

施設名	神戸市立医療センター西市民病院	歯科口腔外科
所在地	兵庫県神戸市長田区一番町2-4	
臨床研修施設長	神戸市立医療センター西市民病院	院長 中村 一郎
研修責任者	神戸市立医療センター西市民病院	歯科口腔外科 部長 西田 哲也
事務部門責任者	事務局長 稲田 浩司	
指導医	部長 西田 哲也 (令和2年度歯科医師臨床研修医指導医講習会 受講)	

2. 研修協力施設

施設名	神戸市立医療センター中央市民病院	歯科・歯科口腔外科
所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町2丁目1-1	
臨床研修施設長	神戸市立医療センター中央市民病院	院長 木原 康樹
研修責任者	神戸市立医療センター中央市民病院	歯科・歯科口腔外科 部長 谷池 尚樹
指導医	部長 谷池 直樹	

VI. 研修期間とスケジュール

研修期間は1年とする。

歯科口腔外科で研修を行う。ただし、4月中旬まで医科と合同のオリエンテーションがある。

また、研修協力施設での研修期間は不定期であり、合計1月以内となる。

<週間スケジュール>

	月	火	水	木	金
午前	初診	初診	初診	初診	初診
	再診	再診	インプラント 外来	再診	再診
午後	外来手術	日帰り麻酔下 手術	入院手術	外来手術	入院手術
	摂食嚥下外来	摂食嚥下外来	カンファレン ス	NSTカンファレンス	口腔ケア

VII. 研修医の指導体制

1. 病院としてのサポート体制
 - 1) 4月（前半1～2週間）のオリエンテーション（医科と合同）
 - 2) 臨床病理検討会（CPC）（年間11回）
 - 3) 救急カンファレンス（週1回）
 - 4) 研修医セミナー（月1回）
 - 5) その他 院内開催の各種講演会等

2. 研修歯科医のための勉強会など
 - 1) 講義（CT・MR画像、輸液、外来手術のコツなど）
 - 2) 研修医勉強会（心電図、保険点数、EBM、統計処理、論文の読み方など）
 - 3) 研修開始前の実習（静脈確保、モニターの見方など）
 - 4) 研修評価ノート（経験症例の記録と自己評価ならびに指導医による評価を記載）

VIII. 評価に関する事項

1. 評価

- 1) 研修修了の評価・認定は、各研修医があらかじめ定められた期間（原則1年）内に臨床研修を修了することができるよう配慮する必要がある。そのために指導歯科医は研修歯科医ごとに到達目標の達成状況を把握し、研修修了後または必要に応じて随時、研修歯科医の評価をプログラム責任者に報告することとなっている。また、毎月開催される研修管理常任委員会にて到達目標の達成状況について確認し、必要があれば調整する。
- 2) 研修期間中の評価は形成的評価を行い、フィードバックによって価値ある変化をもたらすことが目的である。そのため、到達目標に対する個々の達成度について記録することは自己評価のためだけではなく、指導歯科医にとってもさらにプログラム責任者にとっても、研修がどの程度進んでいるかを把握し、必要に応じて適宜フィードバックしていくにあたり重要である。
- 3) 具体的には経験症例ごとにサマリーを記録し、自己評価を4段階で評価し、その都度指導医の意見と評価を受ける。個人情報保護の点から患者名、施設名などはイニシャルやIDにする必要があり、退院サマリーは入院患者記録として添付する。また、講演会、セミナー、勉強会の記録などは必要であり、一定の簡単な様式でよい。

2. 修了

研修期間の終了に際し、プログラム責任者は研修管理委員会に対して、研修歯科医ごとの到達目標の達成状況を報告する。この報告に基づき、研修管理委員会は修了認

定について評価を行う。達成度の評価は行動目標の達成度評価と臨床歯科医としての適正の評価に分けて行い、両者の基準が満たされた時に修了と認める。後者については、複数の指導歯科医、複数の研修施設の評価が望ましい。

1) 安心・安全の医療が提供できない場合

2) 法令・規則が遵守できない場合

これらの研修歯科医に対してはまず、十分指導教育すべきであるが、改善が見られない時は研修管理委員会において、未修了、中断と判断することもやむを得ない。

Ⅸ. 研修医の募集ならびに採用方法

1) 募集人員 1名

2) 募集方法 全国公募（歯科医師臨床研修マッチングプログラムに参加）

3) 選考方法 小論文+面接

Ⅹ. 研修医の処遇

1. 身分 任期付正規職員（常勤）

2. 給与 月額約 31 万円 ※月額給与に 12 を乗じ、賞与を加えた額
その他、通勤手当支給

3. 勤務時間 週 38 時間 45 分

4. 年次有給休暇 年毎 20 日間

5. 時間外手当 あり

6. 当直勤務 なし

7. 保険関係 健康保険（神戸市職員共済組合）加入、厚生年金加入、
雇用保険加入、地方公務員災害補償適用、医師賠償責任保険加入

8. 宿舍 あり

9. 施設内の部屋 あり（1室。医科研修医と同室）

10. 健康管理 健康診断（年1回）

11. 外部研修活動 手当支給あり（上限あり）

12. 医師賠償責任保険 病院にて加入

Ⅺ. 具体的な研修目標

1. 基本習熟コース

個々の歯科医師が患者の立場に立った歯科医療を実践できるようになるために、基本的な歯科診療に必要な臨床能力を身につける。

2. 基本習得コース

生涯にわたる研修を行うために、より広範囲の歯科医療について知識、態度及び技

能を習得する態度を養う。

A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し，説明責任を果たしつつ，社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

2. 利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともに QOL に配慮し，患者の価値観や自己決定権を尊重する。

3. 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観，感情，知識に配慮し，尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

4. 自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し，常に資質・能力の向上に努める。

B. 資質・能力

1. 医学・医療における倫理性

診療，研究，教育に関する倫理的な問題を認識し，適切に行動する。

- ① 人間の尊厳を守り，生命の不可侵性を尊重する。
- ② 患者のプライバシーに配慮し，守秘義務を果たす。
- ③ 倫理的ジレンマを認識し，相互尊重に基づき対応する。
- ④ 利益相反を認識し，管理方針に準拠して対応する。
- ⑤ 診療，研究，教育の透明性を確保し，不正行為の防止に努める。

2. 歯科医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し，医療従事者の安全性にも配慮する。

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解し，それらの評価・改善に努める。
- ② 日常業務の一環として，報告・連絡・相談を実践する。
- ③ 医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- ④ 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し，実践する。
- ⑤ 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し，自らの健康管理に努める。

3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し，自らが直面する診療上の問題について，科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- ① 頻度の高い疾患について，適切な臨床推論のプロセスを経て，鑑別診断と初期

対応を行う。

- ② 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。
- ③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。
- ④ 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・移行に配慮した診療を行う。

- ① 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- ② 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。
- ③ 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- ④ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

5. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

- ① 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- ② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。
- ③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し連携を図る。

- ① 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。
- ② 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- ③ 医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。

7. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

- ① 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ② 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。
- ③ 予防医療・保健・健康増進に努める。
- ④ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ⑤ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び

医療の発展に寄与する。

- ① 医療上の疑問点に対応する能力を身に付ける。
- ② 科学的研究方法を理解し、活用する。
- ③ 臨床研究や治験の意義を理解する。

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- ① 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ② 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌等を含む。)を把握する。

C. 基本的診療業務

1. 基本的診療能力等

本項目は、「B. 資質・能力」のうち、「2. 歯科医療の質と安全の管理」「3. 医学識と問題対応能力」「4. 診療技能と患者ケア」「5. コミュニケーション能力」に相当する具体的な到達目標を示す。

(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画

研修内容：初診患者に対し、①から⑥までを一連で実施する。

症例数：10 症例

- ① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。

研修内容：初再診時の医療面接

- ② 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。

研修内容：全身の観察、口腔内外の観察、各種検査の必要性の判断

- ③ 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。

研修内容：エックス線検査、血液検査、生化学検査、細菌検査、歯周組織検査など

- ④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。

研修内容：診断に関するカンファレンスでの提示説明

- ⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。

研修内容：診療計画のプロトコール作成

- ⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。

研修内容：患者への病状説明、インフォームドコンセント、同意書の取得

(2) 基本的臨床技能等

- ① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導，基本的な手技を実践する。

研修内容：う蝕予防 歯周病予防に関する指導と管理

症例数：5 症例

- ② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。

a. 歯の硬組織疾患

研修内容：コンポジットレジン修復、インレー修復

症例数：5

b. 歯髄疾患

研修内容：抜髄処置、感染根管処置

症例数：3

c. 歯周病

研修内容：歯周組織検査、消炎処置

症例数：10

d. 口腔外科疾患

研修内容：抜歯、消炎処置、嚢胞摘出、外傷処置、顎関節症

症例数：80

e. 歯質と歯の欠損

研修内容：架橋義歯補綴、床義歯補綴

症例数：2

f. 口腔機能の発達不全，口腔機能の低下

研修内容：摂食嚥下障害患者に対する歯科治療および訓練

症例数：5

- ② 基本的な応急処置を実践する。

研修内容：う歯の除痛、消炎処置、外傷処置、修復物再着、義歯修理

症例数：5

- ③ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し，全身状態を評価する。

研修内容：診療時にモニターを使用し、観察下に全身状態を評価する

症例数：50

- ⑤ 診療に関する記録や文書（診療録，処方せん，歯科技工指示書等）を作成する。

- ⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し，実践する。

(3) 患者管理

- ① 歯科治療上問題となる全身的な疾患，服用薬剤等について説明する。

研修内容：内科疾患（特に服用薬剤が問題となる抗血栓療法中や骨粗鬆症に対し薬剤による治療をされている患者）に対し歯科治療上の問題点を説明する

症例数：30

- ② 患者の医療情報等について，必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。
③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し，歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。

研修内容：不整脈や血圧の安定しない患者、歯科治療に恐怖心のある患者などに対して歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う

症例数：30

- ④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。
⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実施する。

研修内容：入院療養上の留意事項を説明し、周術期口腔機能管理を行う

症例数：30

(4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供

- ① 妊娠期，乳幼児期，学齢期，成人期，高齢期の患者に対し，各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理，口腔機能管理について理解し，実践する。
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。
③ 障害を有する患者への対応を実践する。

研修内容：障害を有する患者の歯科治療に必要な対応を行う

症例数：5

2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等

本項目は，関連する「B. 資質・能力」「6. チーム医療の実践」「7. 社会における歯科医療の実践」に相当する具体的な到達目標を示す。

(1) 歯科専門職間の連携

- ① 歯科衛生士の役割を理解し，予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。
② 歯科技工士の役割を理解し，適切に歯科技工指示書を作成するとともに，必要に応じて連携を図る。
③ 多職種によるチーム医療について，その目的，各職種の役割を理解した上で，歯科専門職の役割を理解し，説明する。

(2) 多職種連携，地域医療

- ① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。
 - ② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。
 - ③ 在宅療養患者や介護施設等の入所者に対する介護関係職種が関わる多職種チームについて、チームの目的を理解し、参加する。
 - ④ がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。
 - ⑤ 歯科専門職が関与する多職種チーム（栄養サポート、摂食嚥下リハビリテーション）について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。
 - ⑥ 入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。
- (3) 地域保健
- ① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。
 - ② 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。
 - ③ 保健所等における地域歯科保健活動を経験する。
 - ④ 歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する。
- (4) 歯科医療提供に関連する制度の理解
- ① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。
 - ② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。
 - ③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。

XII. 症例数

- 1. 到達目標達成に必要な症例数 合計 270 症例
- 2. 経験することを目的とする症例数

XIII. 本プログラム終了後の進路について

本プログラム修了者は、拡大臨床研修管理委員会での議を経て原則として引き続き2年次の歯科専修医プログラムを研修することが可能であり、6ヶ月の当院での研修（希望者はそのうち1ヶ月を神戸市立医療センター中央市民病院歯科口腔外科にて研修）および神戸市立西神戸医療センター歯科口腔外科にて6ヶ月の研修を行い、歯科医師の養成を目指している。

令和4年3月改訂

令和6年6月改訂